

2009年2月15日 講義8

講義タイトル： Customary Laws vis-à-vis their Application in Dispute Settlement Among the Arsii Oromo

講師： Mamo Hebo (アジスアベバ大学)

キーワード： Customary law, religion, Oromo society, Dispute

要約

本レクチャーにおいて発表者は、エチオピアのオロミア州に住まうオロモの人々を対象とし、当該社会におけるさまざまなアクターに注目しながら、慣習法の適用と紛争解決について論じた。本発表は以下の2点を中心に議論がすすめられた。第一に紛争解決のメカニズムである。ここではオロモ社会では慣習法をもちいて、1) 長老、2) 精霊、および儀礼祭祀、そして3) 女性の3つのアクターが相互に関わりあって、紛争解決をしていることが指摘された。第二に、事例紹介である。発表者はいくつかの異なる事例から、各事例における慣習法の罰則の程度、および、それらを解決へと導くアクターについて論じた。結論として、発表者はオロモ社会における慣習法は、どれ程の過ちをおかしたのかをはかり、そして、刑罰を決定する道具として機能していると述べた。

(報告者：木下博子)